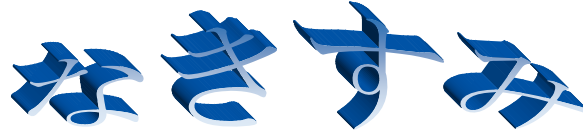




明石市立魚住東中学校 校長通信



2021年
3月17日
(水) 第8号
学校長 堂本学

第39回卒業証書授与式 式辞

魚住東中学校の校庭にも、暖かくやわらかな光が差し込み、春の気配が感じられる好季節になってきました。

昨年度から続く新型コロナウイルスの感染が収まらず、卒業式の開催も危ぶまれていましたが、本日ここに保護者の皆様のご臨席のもと、卒業式を挙行できますことは、ここにいるすべての人にとりましてこの上ない喜びでございます。

さて、魚住東中学校を巣立ち行く172名の皆さん、ご卒業おめでとうございます。私は、皆さんとは2年間の関わりでしたが、たくさんの思い出ができました。今年度は新型コロナウイルスの影響で、様々な行事が中止、または縮小され、ストレスのたまることも多かったことと思います。しかし、そのような中でも、日常生活では、大変真面目な学習態度であり、問題行動も非常に少ない落ち着いた学年でした。行事においても、体育大会の堂々とした入場行進や、ダンスなどの演技、文化祭での迫力のある合唱など、すべてにおいて1・2年生の見本となるパフォーマンスを見せてくれました。また、1泊2日の修学旅行では、一緒に食事をしたり、乗り物に乗ったりしたことが、とても印象に残っています。39回生は、本当に素晴らしい学年であり、皆さんのことを誇りに思っています。

ここで、皆さんの卒業にあたり、私の座右の銘である二つの言葉を紹介します。一つ目は、「**努力は素質を上回り、気力は実力を超える**」という言葉です。これは、私が本校の教諭時代に剣道部員から教えてもらったことです。全員が初心者でありながら、全国大会出場という大きな夢を叶えるために、血のにじむような努力と厳しい稽古に耐え、兵庫県でみごとに優勝し「全国大会出場」という大きな夢を叶えました。自分がやろうと決めたことは、「絶対にやっтар」という強い気力を持ち、だれにも負けない努力をすることが必要です。そうすればきっと夢がかなうと思います。

二つ目は、「**情を大切に**」という言葉です。AIが急速に進展する社会において、「情」という分野は、人間にしかないものではないでしょうか。「情」という言葉を辞書で引くと、思いやり、温もり、情けと言ったことが書いてあります。情の上に人をつけると人情、愛をつけると愛情、友をつけると友情になります。また、情の下に「熱」をつけると「情熱」ということばになります。どれも他人に対する思いやりにつながる素晴らしい言葉です。皆さんは、今日までたくさんの人に支えられて来ました。15年間育ていただいた保護者の方や、様々なことを教えていただいた先生方への感謝の気持ちを忘れてはなりません。また、毎日育んできた友達との友情は一生の宝物となることでしょう。そして、この温もりのあるふさと魚住東中に誇りと愛着を持ってください。人は、たくさんの人との関わりの中で生きています。卒業しても、情を大切に温もりのある人になってください。最後になりましたが、保護者の皆様、お子様のご卒業、心よりお祝い申し上げます。大切なお子様を3年間お預かりしましたが、至らない点が多々あったこととお詫び申し上げます。これからも、お子様が健やかにたくましく成長されますよう心からお祈り申し上げます。

名残は尽きませんが、卒業生の皆さんの、輝ける未来に、幸多からんことを祈念し、式辞といたします。

令和三年三月十七日 明石市立魚住東中学校長 堂本 学